



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社遠藤製作所

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当 (氏名) 佐藤 俊明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,179	△9.9	800	68.0	830	73.2	648	—
28年3月期第2四半期	6,861	3.8	476	—	479	—	46	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △652百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △91百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	74.30	—
28年3月期第2四半期	5.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	16,681	75.2	12,546	75.2		
28年3月期	17,561	75.6	13,269	75.6		

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 12,546百万円 28年3月期 13,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,859	△13.7	1,040	16.6	1,085	21.1	826	—	94.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	9,441,800 株	28年3月期	9,441,800 株
29年3月期2Q	711,871 株	28年3月期	711,871 株
29年3月期2Q	8,729,929 株	28年3月期2Q	8,730,003 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、平成28年11月29日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料は、開催後に当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国を始めとするアジア新興国の景気減速や英国のEU離脱問題に伴う海外経済への下振れ懸念等から、景気を下押しする不安要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、前期までのゴルフ事業の抜本的改革が一巡し、利益体質を確実なものとするべく、全社で生産効率の向上、受注の拡大に努めるとともに、一層のコストの低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は61億79百万円（前年同期比9.9%減）となりました。利益面につきましては、ゴルフ事業の構造改革の成果が現れ、コスト低減や効率化が進んだことに加え、為替レートが円高に推移し輸入コストの低減等から、営業利益8億円（同68.0%増）、経常利益8億30百万円（同73.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億48百万円（前年同期は46百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）と大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、前期のメタルウッドヘッド工場の合理化から、メタルウッドヘッドの受注数は減少したものの、アイアンヘッドの追加受注があったこと、またコスト低減が進んだことや、円高による輸入コスト低減等で、売上高26億81百万円（同16.8%増）、営業利益4億19百万円（前年同期は1億9百万円の営業損失）となりました。

(ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、新規販路の取引増加、生産性の向上・製造原価の低減等に取り組みましたが、OA機器市場の低迷から取引先の在庫調整による受注数の減少等で、売上高6億33百万円（前年同期比28.6%減）、営業利益2億37百万円（同32.3%減）となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、依然としてタイ国の自動車産業の回復が鈍い中、生産効率向上等の改善活動や徹底したコスト削減等に努め、売上高28億65百万円（同22.1%減）、営業利益3億78百万円（同4.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、166億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億80百万円減少いたしました。

流動資産は、102億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、64億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億34百万円減少いたしました。この主な要因は、機械装置及び運搬具の減少等によるものであります。

負債合計は、41億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円減少いたしました。

流動負債は、28億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、13億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。この主な要因は、社債の減少等によるものであります。

純資産合計は、125億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億22百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億98百万円（前年同期比28.1%減）の収入となりました。これは主に、売上債権の増加8億54百万円、税金等調整前四半期純利益8億30百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、95百万円（前年同期は1億87百万円の支出）の収入となりました。これは主に、定期預金の減少1億57百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億35百万円（前年同期比34.7%減）の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億31百万円、短期借入金の純減額1億30百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は52億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月28日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,183,943	5,808,850
受取手形及び売掛金	2,084,588	2,753,641
商品及び製品	700,629	684,536
仕掛品	453,749	437,297
原材料及び貯蔵品	563,014	524,748
繰延税金資産	21,096	17,096
その他	129,257	64,932
貸倒引当金	△13,101	△14,501
流動資産合計	10,123,178	10,276,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,570,744	2,202,969
機械装置及び運搬具(純額)	2,270,317	1,782,249
工具、器具及び備品(純額)	96,913	87,005
土地	1,551,072	1,430,970
建設仮勘定	117,070	78,522
有形固定資産合計	6,606,117	5,581,718
無形固定資産	29,252	26,864
投資その他の資産		
投資有価証券	92,644	93,905
投資不動産(純額)	252,786	251,176
退職給付に係る資産	426,345	423,714
長期未収入金	229,337	219,573
その他	32,638	27,595
貸倒引当金	△230,342	△219,911
投資その他の資産合計	803,409	796,053
固定資産合計	7,438,779	6,404,637
資産合計	17,561,958	16,681,237

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	801,679	777,919
短期借入金	887,740	667,980
1年内償還予定の社債	600,000	500,000
未払法人税等	181,380	164,444
未払金及び未払費用	335,864	347,161
賞与引当金	50,961	237,053
その他	81,488	124,493
流動負債合計	2,939,114	2,819,052
固定負債		
社債	500,000	-
長期借入金	287,240	799,240
繰延税金負債	218,387	191,977
退職給付に係る負債	177,492	168,813
役員退職慰労引当金	58,026	61,342
資産除去債務	61,039	45,751
その他	51,415	48,151
固定負債合計	1,353,601	1,315,276
負債合計	4,292,715	4,134,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	10,150,745	10,729,536
自己株式	△281,968	△281,968
株主資本合計	12,300,439	12,879,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	1,357
為替換算調整勘定	968,735	△333,678
その他の包括利益累計額合計	968,803	△332,321
純資産合計	13,269,242	12,546,909
負債純資産合計	17,561,958	16,681,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,861,563	6,179,846
売上原価	5,577,133	4,639,321
売上総利益	1,284,430	1,540,525
販売費及び一般管理費	807,567	739,589
営業利益	476,862	800,935
営業外収益		
受取利息	17,762	16,883
受取配当金	1,038	1,228
投資不動産賃貸料	17,908	10,626
為替差益	31,599	-
助成金収入	1,100	38,910
その他	10,381	23,164
営業外収益合計	79,790	90,812
営業外費用		
支払利息	23,747	10,165
減価償却費	5,665	8,522
シンジケートローン手数料	11,374	11,115
貸倒引当金繰入額	27,224	-
固定資産除却損	-	15,830
為替差損	-	7,701
その他	9,108	8,002
営業外費用合計	77,119	61,338
経常利益	479,534	830,409
特別損失		
減損損失	186,786	-
事業再編損	78,148	-
特別損失合計	264,935	-
税金等調整前四半期純利益	214,598	830,409
法人税、住民税及び事業税	177,365	169,246
法人税等調整額	△8,825	12,532
法人税等合計	168,540	181,779
四半期純利益	46,058	648,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,058	648,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	46,058	648,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,302	1,289
為替換算調整勘定	△142,243	△1,302,413
退職給付に係る調整額	△16,108	-
その他の包括利益合計	△138,049	△1,301,124
四半期包括利益	△91,991	△652,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,991	△652,494
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	214,598	830,409
減価償却費	525,921	414,904
減損損失	186,786	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30,925	△9,030
賞与引当金の増減額(△は減少)	191,063	186,091
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,850	14,871
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,703	3,316
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△24,040	-
受取利息及び受取配当金	△18,800	△18,111
支払利息	23,747	10,165
為替差損益(△は益)	43,448	4,606
有形固定資産除却損	-	15,830
事業再編損	78,148	-
売上債権の増減額(△は増加)	232,554	△854,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△116,312	△93,091
仕入債務の増減額(△は減少)	△228,033	138,258
未収消費税等の増減額(△は増加)	13,313	64,388
長期未収入金の増減額(△は増加)	△27,224	9,763
その他	14,993	33,771
小計	1,130,535	751,896
利息及び配当金の受取額	18,836	18,192
利息の支払額	△25,080	△11,566
事業再編による支出	△160,612	-
法人税等の支払額	△131,030	△160,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	832,648	598,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	126,687	157,675
有形固定資産の取得による支出	△300,374	△61,562
有形固定資産の売却による収入	680	20,188
無形固定資産の取得による支出	△14,661	△4,805
資産除去債務の履行による支出	-	△15,752
その他	50	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187,617	95,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	△130,000
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	△207,150	△131,700
社債の償還による支出	-	△600,000
リース債務の返済による支出	△206,141	△3,779
自己株式の取得による支出	△24	-
配当金の支払額	△69,840	△69,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,156	△335,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58,221	△573,572
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	73,653	△214,722
現金及び現金同等物の期首残高	4,944,893	5,438,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,018,547	5,223,288

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,296,545	887,154	3,677,862	6,861,563	—	6,861,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,100	—	—	5,100	△5,100	—
計	2,301,645	887,154	3,677,862	6,866,663	△5,100	6,861,563
セグメント利益又は損失(△)	△109,321	350,966	396,772	638,416	△161,553	476,862

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△161,553千円には、セグメント間取引の消去△5,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,453千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、4,734千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、182,051千円であります。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,681,294	633,529	2,865,022	6,179,846	-	6,179,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,100	-	-	5,100	△5,100	-
計	2,686,394	633,529	2,865,022	6,184,946	△5,100	6,179,846
セグメント利益	419,564	237,643	378,362	1,035,571	△234,635	800,935

(注) 1. セグメント利益の調整額△234,635千円には、セグメント間取引の消去△5,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△229,535千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。